

<b>3類型</b>	農林水産物	<b>通巻番号</b>	5-19-012
<b>地域資源名</b>	吉野スギ・吉野ヒノキ	<b>認定日</b>	平成19年10月12日
<b>地域</b>	奈良県吉野郡黒滝村	<b>所管省庁</b>	農林水産省・経済産業省

## 事業名：異形の間伐材・除伐材の商品化と流通

会社名：株式会社徳田銘木

所在地：奈良県吉野郡黒滝村御吉野12番地

連絡先：TEL：0747-62-2004

H P：http://www.tokudameiboku.jp/

FAX：0747-62-2318

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・奈良県吉野地域は、日本三大美林に数えられる有数の優良木材供給地であり、その耐久性や強さ、美しい艶、手入れによる節のない良材が吉野材の特長である。
- ・しかしながら、住宅の建築様式の変化や輸入材の増加などにより、吉野材に対する需要が激減している。
- ・木材を育成する中で、廃棄される間伐材・除伐材は、曲がったり節があるため通常の建材として活用出来ない。
- ・当社は、木取り・磨き丸太の技術を活かし、その規格外品の木材を一品物の自然木の高付加価値製品として商品化・販売をしていく。

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

- ・自然木を扱う事業者はいくつかあるものの、吉野杉・吉野桧という産地ブランドを活用するとともに、産地ならではの材木の目利き、木材の木取り等の技術、また当該材の収集のノウハウ・規模もある。

#### ◆市場性

- ・従来の建築用材としての市場は衰退市場であるが、自然木については、首都圏を中心としたマーケットについて需要は伸びると予測している。

#### ◆販路

- ・現在、試験的に3社に販売しているものを、当社の持つ既存チャンネル全てへ提案し、かつ新たなチャンネルの構築する。
- ・今後パートナーとなる販社も探し、首都圏やWebによる販売の強化を図る。

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・現在吉野地域にある50社の材木業者と連携し、除伐材等を出材する仕組みを構築する。



【出材した原木】



【皮剥ぎ後、木取りの検討】



【木取り後】



【完成した床框(とこかま)】